

## 平成29年度各部の重点取組の取組結果

部(局)名	土木部
部(局)長名	松本 利久
理事名	古川 鉄人（地域整備担当）

### 【基本姿勢】

道路や公園は、高質で安全なまちを支え、社会活動の基盤であり市民生活に潤いと豊かさを与えるものです。

これらのストックを良好に維持管理し、現世代のみならず次世代へも引き継いでいくことは、土木部の最重要課題であります。

道路ストックについては、各種点検・調査を行い、事後対応から事故を未然に防止するため、予防保全に重点を置いた計画的な維持管理に努めていきます。

都市公園施設についても、公園施設長寿命化計画に基づき、計画的な維持管理・修繕・更新を進めていきます。

これらを適切に執行していくための維持管理費用を「まちの固定費」ととらえ、「まちの品格」を保つため、その確保に努めていきます。

また、都市計画道路や地域再整備を図ることも重要課題であり、安全で快適な都市基盤をつくり、まちの魅力を向上させていきます。

また、「歩く」ことを基本とした市民の移動がより円滑に行えるよう、歩行空間のバリアフリー化や安全な自転車利用の環境整備にも努めていきます。

### 【達成度について】

A：達成（設定した目標を達成することができた。）

B：一部達成（設定した目標の一部のみ達成することができた。）

C：未達成（目標達成に向け取り組んだものの、目標達成には至らなかった。）

### 【重点課題】

	重点課題	平成29年度 達成状況
1	持続可能なインフラマネジメントの推進	B
2	うるおい豊かなみどりのまちづくり	A
3	過度の車依存からの脱却	B
4	都市基盤の整備	A

部(局)名	土木部
-------	-----

重点課題 1	持続可能なインフラマネジメントの推進
--------	--------------------

全体の達成度
B
一部達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	<p>道路の適切な維持管理に取り組むため、道路ストック総点検事業の調査結果により作成した維持管理基本計画を基に、舗装更新を行う路線の抽出や事業費の平準化に努めます。公園についても公園施設長寿命化計画に基づいた維持管理を進めていきます。</p> <p>適切な維持管理費用を「まちの固定費」と捉え、「まちの品格」を保つよう適切な維持管理費の確保に努めます。</p>
---------------------	--

活動目標
舗装補修計画に抽出された路線において他企業と調整の上、舗装範囲を決定し、事業を展開していきます。
道路法施行規則の改正に伴い義務付けられた橋梁の点検を実施します。大阪府による一括発注システムを活用しながら、本市の管理橋梁約200橋を3か年(平成28年度～平成30年度)で点検します。
歩道の通行に支障となっている街路樹の根上りについて対策を行い、快適な歩行空間を整備します。

具体的な取組実績
平成26年度及び平成27年度実施の路面性状調査結果に基づく補修計画より舗装の修繕工事を11本発注しました。
平成29年度は、大阪府による一括発注システムを活用し74橋の橋梁点検を行いました。
本市が管理する街路樹について、根上り調査を実施しました。併せて、根上り補修を58箇所実施しました。

達成目標
舗装補修計画における平成26年度路面性状調査結果に基づく更新率の達成目標を60%とします。
近接目視による橋梁の点検を75橋行います。
市内全域の街路樹の根上り調査を実施し補修計画を作成します。

達成状況	達成度
平成26年度実施の路面性状調査結果に基づく舗装補修計画の修繕完了距離は、他企業等の舗装復旧も含め、約5.9kmで、更新率は約68%です。	A 達成
平成29年度は、75橋の点検を行う予定でしたが、1橋が点検対象外であったため74橋の点検を行いました。	A 達成
市内全域の街路樹の根上り調査を実施しました。引き続き、調査結果に基づく補修計画を作成中です。	B 一部達成

総合評価・総括
<p>道路や橋梁などの社会基盤を適切に維持管理するために、事後対応型の維持管理から予防保全型の維持管理に重点を置き、橋梁の点検や樹木による根上がり調査を行い、全体としては概ね達成できていると考えています。</p> <p>今後は、市民の安全安心を守るため、橋梁点検や根上がり調査の結果に基づいて補修計画を作成し、計画的に維持補修を行っていきます。</p>

部(局)名	土木部
-------	-----

重点課題 2	うるおい豊かなみどりのまちづくり
--------	------------------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	「街に花を、公園に集う場を」を合言葉に、本市のブランドの1つである豊かなみどり環境を創り出すため、市民と一体となる取組を進めます。
---------------------	---

活動目標
千里花とみどりの情報センターを「みどりのシンクタンク」としての活用を進めていきます。
みどりのコミュニティ空間として、千里南公園にパークカフェを設置します。
集合住宅のベランダを花とみどりで飾る、管理組合や自治会への助成制度を創設します。

具体的な取組実績
市民参画・協働によるみどりのまちづくりの実践を支援するため、産官学の連携体制を構築しながら、調査・研究に取り組みました。千里南公園における関大と連携しての市民アンケート13回、吹田市みどりのまちづくりシンポジウム1回などを実施しました。
基本協定の締結に向けた協議を行うとともに、都市公園内に設置する店舗として千里南公園の魅力をより一層高める提案を運営事業者に求めました。
制度創設に向け、UR千里青山台団地「みんなの庭プロジェクト」の協力を得て実証実験などを行ったうえで、平成29年9月に彩団地助成金交付要綱を制定し、制度を開始しました。8棟49件の申請を受け付けました。

達成目標
公園利用の新たな可能性を探り、都市魅力の向上につなげます。

達成状況	達成度
千里花とみどりの情報センターのシンクタンク機能として、公園利用についての調査・研究を行いました。 カフェの運営事業者と基本協定を締結しました。運営事業者が実施設計を開始するとともに、市は店舗建築場所の造成、及び公園としての駐車場整備工事に着手しました。また、駐車場運営事業者の公募を行い、事業者を選定しました。	A  達成

総合評価・総括
<p>千里花とみどりの情報センターでは、みどりのまちづくり実践型シンクタンク施設として、大学との連携による市民アンケート調査の実施や、『公園をもっと楽しくする「しくみ」づくり』をテーマに、市民を交えたシンポジウムを開催し、市民ニーズの把握や公園利用のしくみづくりに必要な視点について調査研究を行いました。</p> <p>季節や天候に左右されず一年を通して憩える、新たなコミュニティ空間としてのカフェ、及びカフェの設置を契機として総合公園では唯一駐車場がなかった千里南公園に、公園の利便性向上と活性化につながる駐車場の設置を進めています。いずれの施設についても、公園施設として民間事業者のアイデアや柔軟性を活用し、千里南公園の魅力や、市民の公園・みどりに対する満足度を高め、市民のクオリティ・オブ・ライフの向上に寄与する施設を目指します。また、公募によって運営事業者を決定した駐車場については、みどり豊かな公園の景観や環境に配慮した計画として整備を進めています。</p> <p>集合住宅のベランダを花で飾る取組を支援する「彩団地助成金制度」を創設しました。</p>

部(局)名	土木部
-------	-----

重点課題 3	過度の車依存からの脱却
--------	-------------

全体の達成度
B
一部達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	公共交通を利用しやすい環境に整え利用促進を図ります。 自転車利用環境整備計画に基づき総合的な自転車対策に取り組みます。
---------------------	--

活動目標
公共交通機関の乗継ぎにおける情報提供や自転車駐車を確保することにより、公共交通の利用環境の改善に努めます。
公共交通不便地域における交通対策を検討します。

具体的な取組実績
市全域の鉄道や路線バスなどの公共交通の路線情報などを掲載した「吹田市公共交通マップ2018」を作成しました。作成費の一部について広告収入による財源を確保しました。 また、自転車駐車が不足する駅周辺において増設に向けての土地所有者や関係者との協議を行っています。
市民アンケート調査を実施し、公共交通不便地域における市民ニーズを取りまとめました。

達成目標
わかりやすい情報提供による公共交通の利用促進、自転車駐車が不足している駅周辺の整備に努めます。
公共交通不便地域における移動手段の確保に努めます。

達成状況	達成度
公共交通マップを市内転入窓口及び公共施設等で継続的に配布しました。 また、自転車駐車が不足するJR岸辺駅北側において自転車駐車を整備するとともに、仮設自転車駐車場用地の土地所有者と借地期間延長の賃貸借契約を締結しました。	A 達成
公共交通不便地域の実状に適した交通対策について引き続き検討します。	B 一部達成

総合評価・総括
<p>市内の公共交通、特に路線バスの維持、確保に向けて、市としても事業者との協力のもと利用促進は必須であると考えており、その取組みの一つとして、わかりやすい情報提供として公共交通マップを継続的に作成し配布していくことは重要であると考えています。</p> <p>今後は、作成した自転車利用環境整備計画に基づき、関係部局が連携して円滑に事業を遂行していくことが重要です。</p> <p>さらに、自転車駐車が不足する駅周辺での自転車駐車の確保については、引き続き利用状況を注視しながら、用地確保も含め、自転車利用者が利用しやすい環境を整えていきます。</p> <p>公共交通不便地域においては、今年度実施したアンケート調査結果を踏まえ、引き続き、更なるデータ収集を行い需要の精度を高め、実状に適した交通対策の検討を行います。</p>

部(局)名	土木部
-------	-----

重点課題 4	都市の基盤整備
--------	---------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	都市計画道路や市街地整備では、都市基盤整備を推進し都市機能の向上を図ります。
---------------------	--

活動目標
都市施設である都市計画道路事業を進め、安全で快適な道路整備を推進します。
駅を中心とした市街地整備を進め、安全で魅力的な都市基盤整備を推進します。

具体的な取組実績
3路線の都市計画道路事業については、年度計画に従い、当初予定の各工事の契約を全て締結し、街路築造工事等を実施しました。
阪急千里山駅前において、歩道整備用地の取得が完了し、道路改良工事を実施しました。 阪急南千里駅前において、歩行者（佐竹台）デッキ工事を含む駅前公共広場の整備を実施しました。

達成目標
それぞれ既に着手している街路築造工事、電線共同溝工事、今年度新たに着手する工事も含め、年度計画が達成できるよう整備等を行います。
都市再生整備計画に基づき、年度計画が達成できるよう整備を行います。

達成状況	達成度
都市計画道路千里山佐井寺線については年度計画のとおり供用開始しました。残る2路線についても、年度計画に沿って、整備を推進しております。	A 達成
都市再生整備計画に基づき、計画期間内の事業完了に向け、事業を進捗しています。	A 達成

総合評価・総括
<p>都市計画道路事業としましては、都市計画道路千里山佐井寺線において、道路新設工事を完成させ、全区間の供用を開始することができました。また、都市計画道路南吹田駅前線立体交差事業及び都市計画道路岸部中千里丘線道路新設事業において、概ね計画どおりに進めることができました。</p> <p>市街地整備事業としましては、千里山駅周辺において、用地取得の可否に合わせ、都市再生整備計画を見直すとともに、変更計画に沿った用地の取得を完了させ、道路改良整備工事等を実施しました。また、南千里駅周辺において、歩行者（佐竹台）デッキを含む駅前公共広場整備を進める等、計画期間内での完了に向け、事業を進捗しています。</p>